

太古から未来の果てへと地球の運命と

人類の夢を見守りながら、火の鳥は翔ぶ。



神のいる天空と人類とを結ぶ火の鳥。それは宇宙エネルギーの象徴である。

世界的な自然景観を持つ阿蘇に、世界的な規模のステージができたことは、私にとって非常な驚きである。現地へ行って、その傍らに立ったときの驚きは、今まで体験したことのないようなもの。ひと一言で言えば、東京駅のホームをひとすく、ここへ持って来たような、そんな感じがする。今まで日本

では造られなかった巨大なイベント会場は、阿蘇の巨大な景観とよくマッチしている。しかも、アスペクタが据えられている南阿蘇からは、阿蘇の山々がひと塊で見えるという実にすばらしい背景があり、魅力ある会場となっている。そのアスペクタで聞く今回のスピー

ス・ファンタジー「火の鳥」は、阿蘇と非常に縁が深い。今から三十年前、私は連載を始めるにあたってこの阿蘇へ来てその火口を目の当りにし、アイデアを練った。いわば、「火の鳥」は阿蘇の申し子。マンガのテーマの中に、超古代の人々のパタリテイ、人間と宇宙を含む大自然とのかかわり、人間の生きがい、人生観などがあるが、私は、これらのアイ

総合プロデューサー 手塚治虫

デアを阿蘇の火口を見ることによって思い浮かべた。今回、この雄大な阿蘇の自然の中で、そのイメージの翼を大きく広げる火の鳥は、私の火の鳥に対する思い入れ、熱意、そして、これまで書いてきた闘志を一気に注ぎ込んだ象徴的な姿として、会場を埋めた人々の心にしつかりと羽ばたいてくれることと思う。

●スペースファンタジー「火の鳥」

人々は退廃の夢に酔っている。発達したテクノロジー、それに侵される繁栄の都市。人類は、飢餓と絶滅の極みに落ちいる。荒涼たる世界を人々がゆくとき、果たしてそこには再び文明の夜明けを見ることが出来るものだろうか。そして、火の鳥は、はるか天空のかなたから私たちを見守っていてくれるのだろうか…。

ここは 火の国、火の山をかかえる大草原。

超古代の阿蘇において王子ナギと、近隣の王女ナミの婚礼の儀式が行われようとしている。人々は平和と喜びのうたを歌い、両国は友好のきずなで結ばれる。

ところが、宴もたけなわの頃、突然いさかいが起こり人々の悲鳴の中、戦いの火ぶたがきつておとされる。二人の恋人のゆくえは？そして火の鳥はいずこにいるのか……。一方ここは世紀末の近代都市。人類の巨大な頭脳はみにくくふくれあがり、

プログラム

●13:00 大空にボカリボカリと浮かぶ熱気球。会場ではエレクトロニヤピアノの演奏、大バザールなど、楽しいイベントであなたをお迎え。
スミス
ファンタジー「火の鳥」

●19:00~21:00 コーラス、オーケストラ、カルミナ・プラーナ 天の声か、地の声か。阿蘇にこだまする大合唱。光と音のファンタジー スペースシグナルやシンセサイザーが織りなす、壮大なイメージの世界。

火の鳥Tシャツ 好評発売中！
「火の鳥」Tシャツ2,500円

■Tシャツのお求め、お問い合わせは、熊本県内については

UR九州

熊本支店・最寄りの駅へ熊本県外については

西日本交通公社

九州内各支店へ ☎0922(781)0700

火の鳥接近遭遇、8月2日。

手塚治虫「火の鳥」のTシャツ(スペースファンタジー「火の鳥」)でアスペクタへ行こう！